

# HIDEYO SALON

## HIDEYO SALON

お待たせしました。

サロン・コンサート No.19 のご案内です。

今回は、水の都 [“Venezia \(ヴェネツィア\)”](#) をご紹介しましょう。

伝説では、425年フン族の侵攻を避けるため本土の住民が干潟へ移り住んだのが起源だといわれています。漁業で細々と暮らしをたてていた人々が、次第に、製塩業と水上運送業を中心に東西貿易を発展させ、12世紀末から15世紀にかけては『アドリア海の女王』と呼ばれるほどの繁栄時代を築き上げました。ヴェネツィア商人マルコ・ポーロが中国まで大旅行したのもこの頃です。

ゲストに、関西フィルハーモニー交響楽団のチェリスト **渡部良** さんを迎えます。イタリアの音楽院を卒業後、ヴェネツィア・フェニーチェ歌劇場管弦楽団で活躍、その頃のとっておきエピソードをうかがいましょう。

ピアニストは、関西を中心に活躍しておられる **正田歩** さんです。

今回は、ヴェネツィア生まれの作曲家の作品、ヴェネツィアを舞台にした作品、海をイメージした曲を中心にお届けします。ヴェネツィアで音楽文化が花開いたのはバロック時代。活躍したのは [アントニオ・ヴィヴァルディ \(1678-1741\)](#)。「赤毛の司祭」として人々から親しまれた聖職者ですが、宗教曲以外に情熱的なオペラを46曲も作曲しています。その中から華やかな一曲をお届けしましょう。

サン・マルコ広場のカフェ・フローリアンのテラスに座って、K・ヘプバーン主演「旅情」や、美しい少年 B・アンドレセン出演「ヴェニスに死す」で流れるマーラーの交響曲第5番第4楽章のロマンチックな生演奏に、うっとり耳を傾けます。A・ヘミングウェイは、足繁く通ったハリーズ・バーの一階カウンターで、桃の生ジュースカクテル「ベッリーニ」を食前酒に、ヴェネツィアの画家の名がついた前菜料理カルパッチョでお食事。私達は、魅力的な『水の都』に想いを馳せながら、焼きたての胡桃パンで手作りしたイタリア・バターたっぷりのパニーニと、フレッシュ白ワインで乾杯しましょう。どうぞ、お楽しみに!!

---

2006年04月27日 南雲英代

\* [L.S.N.会員の皆様がお誘い下さいました方々も、割引チケットをお求めいただけます。](#)

\* [チケットは、なるべくお早めにお求め下さいね。](#)